

北海道山紀行 2013

序章

・今年の夏は何かと忙しくて例年のような北海道山紀行の時間が取れず、猛暑日の連続が新記録を達成した地獄のような真夏の日々を我が家で過ごすこととなった。なんとか時間が取れたのが9月に入ってからで、経験のない秋の北海道に出かけることとなった。9月の北海道はもう季節は秋、高山植物の期待は無いので紅葉狙いの山紀行となった。また秋の北海道での車内泊は初めてなので、どのくらい寒いのか、道の駅の様子はどうか、山と登山者の様子はどうか等いろいろわからないことが多く、そのあたりの情報を集めるための短期間・2週間の山旅を計画した。主な狙いは「大雪山の紅葉」と「千歳川の鮭の溯上」とした。

・9月の北海道は夏と比べてそれほど心配する差はなく、9月中なら車内泊もそれほど寒くないし、道の駅に泊まっている車も結構あって寂しくなかった。最後の大雪山・旭岳では降雪があり積雪したようだが、紅葉時期の登山者は、夏山に劣らず多くいることが分かった。天候が良ければそれほど心配なく登山できそうだ。

・滞在中になんと台風が通過して強風と大雨の歓迎を受けた。そのためスケジュールの変更と行動の縮小を余儀なくされ、少々消化不良の山紀行で終わったことが残念だった。

車と事前の準備

・今年も愛車 RAV4 で出かけた。もう走行距離も 155000km を越えているが、現役バリバリで良く走ってくれる。今年の内装はちょっと模様替えをした。昨年までは、助手席側に置いた収納棚の関係で、寝床（ベッド）を運転席の後ろに置き左側から乗り降りするような造りにしていたので、運転席を前いっぱいに出して倒さないとベッドの長さが取れない。そのため運転する時にはベッドをたたまないとならず大変不便だった。今年は収納棚を助手席側から撤去し、ベッドを助手席側に設置して右側から乗り降りするようにした。そのため夜も運転席はそのままでいいし、昼もベッドはたたむ必要が無くなり使い勝手が大変良くなった。



昨年までの内装



今年の内装（ベッドの位置を左右入れ替えた）

・内装はベッドが運転席側から助手席側へ移動しただけで、基本的には昨年までとほとんど変えていないので、準備にはそれほど時間がかからなかった。

・写真の整理や諸情報の検索のため毎年パソコンを持って行くのだが、パソコンの電源やその他カメラバッテリーなどの充電機器使用のために、昨年からアイソレーターをセットにしたサブバッテリーシステムを搭載した。そのため 以前何回も経験したバッテリー上がりを気にすることなく電気機器を使用することが出来て快適だった。

・登山靴はメレル、グランドキング、ガルモントの3足を用意して行ったが、ガルモントを履くような山は無く、ほとんどメレルのトレッキングシューズで歩いた。



サブバッテリーシステム

旅行中の内装風景



ベッド



屋外の食卓



車内の食卓